

人の存在を第一にする生き方を
ご卒業おめでとうございます。皆さんがこれから社会に旅立つにあたって、これまで学んできたさまざまな教養や専門(経済学)の知識を「生きた知恵」として活用していくことを期待しています。



法学部長 坂本 武憲

ご卒業おめでとうございます。先行き不透明な社会に巣立つて行かれるのには、不安もありましょう。が、皆さんはどんな時代でも人がなすべき生き方をすればよいのです。目先の幸福に縛られず、自分に天賦な心身の能力を向上させるよう努めること。それが自己の創造性を陶冶する大切な生き方です。

学んだ知識を生きた知恵に
この大災害は、これまでの日本の社会のあり方、そして学問のあり方を大きく問い直すものでもありました。皆さんも何かを感じ取ったことと思いませんか。学生時代に身につけた、何が問題であるのかについて自分自身で判断し、行動する力はますます重要になってきています。



経済学部長 福島 利夫

ご卒業おめでとうございます。心、晴れやかに、未来への希望と不安をいただき、この瞬間を迎えていることでしょうか。卒業は大きな節目です。ただ、あくまでも通過点に過ぎません。

人生の転換点大いに羽ばたけ
大学卒業は誰にとっても人生の転換点です。人生の長期目標を決め、日々の生活が一步一步それに向かっていくと自覚できるように生きよ。は、言葉の限りでは確かに正しいはず。しかし、政治も経済も先を見通しにくい混沌の時代、人生の長期目標も定められず、日々の生活に追われる。だからこそ、この転換点で、20代はこうしたい、30代はこうありたいと、自分の生き方について考えてください。



商学部長 内野 明

専修大学で、多くの経験を積み、さまざまな人たちと出会うことができたことで。この財産をこれから大切にならなければ、存分に活用し、自らの道を切り拓いて欲しいと願っています。

経験と出合いを財産として
この制約を超えるのが、もっと多様な経験をしたい。あなたを支えている人たちです。専修大学で、多くの経験を積み、さまざまな人たちと出会うことができたことで。この財産をこれから大切にならなければ、存分に活用し、自らの道を切り拓いて欲しいと願っています。



経営学部長 馬場 杉夫

卒業おめでとう。この4年間は実にさまざまな出来事がありました。そして、それらの出来事は必ずしも明るい話ばかりではありませんでした。でも、それはもしかすると得難い体験であったかもしれない。社会のシステムが一瞬でも動きを止める、それを学生という立場からじっくり見ることもできたからです。

社会問題解決へ努力しよう
62人中112人になりました。修了者は目標をもって4年間努力して、多くのことを学んだことと思います。プロジェクトでは、問題解決には多様な能力が必要で、能力を束ねて大きな力にすることが重要であることも学んだことと思います。卒業後は社会の問題解決のために努力されることを期待します。



ネットワーク情報学部長 伊東 洋三

卒業おめでとう。新カリキュラムの初めての卒業生を出します。このカリキュラムの特徴は、学生が目標を持って4年間着実に進んでいくためのガイドラインとなるように、8つのプログラム、コンテンツデザイン、メディア、コンテンツデザイン、メディア、アプリデュース、ネットワークシステム、ユビキタスシステム、経営情報分析、ITビジネス、社会情報、情報数理を用意したことです。

新たなシステム構築の気概を
その体験が何であったかをじっくり考え、自分が学んできたことをそれに結びつけていくには、まだ何年もかかるでしょう。しかし、基礎となることは十分身につけたはず。小さなところからかまいません。新たなシステムを構築するのだという意気込みで、世の中に飛び込んでいってください。活躍を期待しています。



文学部長 金子 洋之

大学院での勉学の成果は博士論文、修士論文あるいはリサーチ・ペーパーとなって結実したわけですが、その過程での努力もこれからの人生で大いに財産となるでしょう。同時に、大学院時代に学問研究に取り組み、先人の膨大な知的蓄積の一端に触れたことは、これからの人生における謙虚さにも思い至ったのではないのでしょうか。

学部長・大学院研究科長・法科大学院長の「贈る言葉」

感謝の気持ちを忘れず研鑽を
また、皆さんが研究分野とする法学は、日々変化を遂げている現実の社会を対象とし、そこで生活する人々を幸せにするための学問であると思えます。皆さんにおいては、今後も、本学の建学の精神である「社会に対する報恩奉仕」を体現すべく、一層の研鑽を積み重ねることを期待します。



法学研究科長 庄 菊博

今年度、法学研究科では8人に修士、1人に博士の学位が授与されました。まずは、このたび、修士または博士の学位を取得された皆さんに対し、心よりのご祝辞を申し上げます。

論文の努力が今後の財産に
大学院での勉学の成果は博士論文、修士論文あるいはリサーチ・ペーパーとなって結実したわけですが、その過程での努力もこれからの人生で大いに財産となるでしょう。同時に、大学院時代に学問研究に取り組み、先人の膨大な知的蓄積の一端に触れたことは、これからの人生における謙虚さにも思い至ったのではないのでしょうか。



経済学研究科長 原田 博夫

大学院の課程を修了され、修士・博士の学位を取得された皆さん、おめでとうございます。学位論文を完成させ、達成感をもって今日という日を迎えられることでしょう。学位論文とはただ一定の水準を満たせばよいというものではありません。皆さんはその作成にあたり、研究の成果を最大限に発揮すべく、よりよい論文に仕上げようと提出期限まで努力を重ねられたことと思います。

辛かった研鑽が自身の糧に
でも必要だからです。そのために過去の文献や経験を参考としつつ、自分のオリジナリティを加えて解決策を複数打ち出し、実現可能性を斟酌して最終的な結論に至る。まさにこれこそが皆さんのなすべきことであり、「社会知性の開発」の展開なのです。今後のみなさんの活躍を祈念しております。



経営学研究科長 廣石 忠司

大学院の課程を修了され、学位を取得した皆さんに研究科スタッフを代表してお祝いの言葉を申し上げます。本学での研鑽では辛く感じたことも多いと思います。特に修士課程では学術論文と評価されるに足る論文を作成することは容易なことではなかったでしょう。

己の限界に挑戦し前進を
今日は大学院の課程を修了したため、たい日であると同時に、新たな門出の日でもあります。己の限界に挑戦し、その成果を学位取得という結果につなげた経験を糧に、学問の良心をもってこれからも前進し続けてください。



文学研究科長 道家 英穂

大学院の課程を修了され、学位取得された皆さん、おめでとうございます。修了生、各人がそれぞれの目標を持って入学され、日々努力され、そして一昨年の東日本大震災という大災害にむげず、今日ここに学位を取得されましたことは、目標への重要な第一歩をしるしたことであり、大きな節目でもあります。

自信を持って日々を有効に
法科大学院で学んだことの確認がなされます。自信を持って、これからの日々を有効に過ごしてください。法科大学院では、「議論による問題解決」をモットーに生きてきました。いかなる法的問題にも対処すべき道筋はあるはずであり、それを見いだす力は十分に身についたはず。皆さんの活躍を期待します。



法科大学院長 石村 修

法科大学院での学位(法務博士)を取得され、8期目の修了生になられた皆さんに、スタッフを代表してお祝いの言葉を申し上げます。8号館で早朝から深夜まで、学んだ日々が思い出されることでしょう。

研究を生かし社会問題解決
専修大学大学院で学んだこと経験したこと、反省すべきこと、褒められること、いろいろな思いがありますが、そうしたすべての経験を今後の活動に生かしてください。これからは、自分が研究したこと、体験したことを通して、いま、まさに社会的な問題となっている諸事象の解決に邁進されることを切に願っています。



商学研究科長 上田 和勇

大学院の課程を修了され、学位取得された皆さん、おめでとうございます。修了生、各人がそれぞれの目標を持って入学され、日々努力され、そして一昨年の東日本大震災という大災害にむげず、今日ここに学位を取得されましたことは、目標への重要な第一歩をしるしたことであり、大きな節目でもあります。